

常潤の誉れ

鹿児島県立加世田常潤高等学校

サルビア200株 砂の祭典に彩る

加世田常潤高栽培

南さつま市の加世田常潤高校の生徒が、吹上浜砂の祭典会場に飾る赤の

サルビアを育て4月28日、プランター50個200株を実行委員会へ引き渡した。5月未まで砂像に花を添える。

花の贈呈は毎年行われており、食農プロデュー



ス科の2年生21人が1月から400株を校内で栽培し写真。育ちのいい株を厳選した。

祭典実行委の松元正明(66)は「皆さんが一生懸命作ったサルビアで砂像を彩り、花言葉にある『燃える思い』を伝えたい」と感謝。中村愛梨さんは「自分たちの花がたくさんの笑顔につながればうれしい」と話した。(大塚政志)